

平成30年第2回定例市議会

* 教 育 行 政 報 告 *

恵庭市教育委員会

第2回定例会が開催されるに当たりまして、第1回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

小中連携教育の推進について

はじめに、小中連携教育の推進について申し上げます。
平成28年度に設置した恵庭市小中連携教育推進委員会において、中学校区を基本としたプロジェクトを組織し、小・中学校9年間を見通した教育活動を実践しております。5月14日に本年度の第1回目の合同会議を開催し、市内全校の担当者の参加のもと、これまでの取組や今後の計画等について情報交換を行ったところであり、今年度も小中連携教育の推進に努めてまいります。

学校運営協議会について

次に、学校運営協議会について申し上げます。
昨年度設置した柏小学校に引き続き、今年度は若草小学校・柏陽中学校両校が一体となった合同の学校運営協議会を4月3日に設置したところであり、「地域とあゆむ学校づくり」のコミュニティ・スクールを目指しております。柏小学校と合わせて、地域とともにある学校の実現に向け取り組んでまいります。

就学支援について

次に、就学支援について申し上げます。
就学援助の準要保護世帯における平成30年度新中学1年生となる世帯に対し、新入学生徒学用品費の支給を入学前の3月に行ったところであり、高等学校等に進学する世帯につきましても、入学準備金の支給を行ったところでもあります。
さらに、大学奨学金については、昨年度採用した学生に加えて、今年度は6名の学生を採用決定し、1回目の支給を実施したところでもあります。新年度分につきましても、周知を早めに取り進め、多くの生徒に利用していただけるよう努めてまいります。

学校訪問について

次に、学校訪問について申し上げます。

4月3日に開催した校長・教頭合同会議において、本年度の教育行政の執行方針を示したところであり、5月9日から24日にかけて、教育委員と教育委員会事務局が全ての小中学校を訪問し、学校教育基本方針に基づいた各学校の取組について確認を行うなど、学校経営における課題を共有したところであり、これからも学校と連携して教育の充実に努めてまいります。

全国学力・学習状況調査について

次に、全国学力・学習状況調査について申し上げます。

全国学力・学習状況調査は、4月17日に市内全校に在籍する小学校6年生及び中学校3年生を対象に、国語、算数・数学及び理科の3教科について、実施したところであります。

国からの結果通知は8月に予定されていることから、その調査結果を踏まえ、学力向上に向けた取組を推進してまいります。

発達障がいにかか
る通級指導教室に
ついて

次に、発達障がいにかかると通級指導教室について申し上げます。

発達障がいにかかると通級指導教室「ルルマップ」(通称)の運営に向け、4月17日に保護者説明会を実施し、昨年度から対象である児童の他、今年度新たに対象となった児童への指導についても順次開始しております。

今後も児童一人ひとりの能力や状態に応じた指導・支援を行なって参ります。

青少年国際交流派
遣事業について

次に、青少年国際交流派遣事業について申し上げます。

市内の中・高校生が海外でのホームステイなどの体験を通して、国際理解や国際感覚とともに、コミュニケーション能力の向上を図ることを目的として、ニュージーランド・ティマル市に3月11日から4月2日の

期間で中学生1名、高校生2名、随行者1名を派遣したところであり、それぞれに貴重な体験を持ち帰ってまいりました。

今後、青少年国際交流受入事業として7月1日から21日の期間でニュージーランドの学生3名と随行者5名が来惠する予定となっております。

市民講座について

次に、市民講座について申し上げます。

市民の教養や生活技術の習得を通して学ぶ喜びと生活に潤いをもち、豊かな人間性を培うことを目的として、4月6日に島松公民館及び市民会館において、16講座に約320名の受講者による開講式を実施したところであります。

今後、年間を通して講座を開設し、市民のニーズに応じた学習機会の提供に努めて参ります。

長寿大学について

次に、長寿大学について申し上げます。

63歳以上の市民を対象に、生涯学習社会・長寿社会にふさわしい学習機会を提供し、高齢者の生きがいづくりと社会参加への促進をねらいとして、4月18日に44名の新入生と42名の大学院進級生をお迎えし、入学式並びに始業式を挙行了したところであります。

本市の特色である「読書」や「花」などについて学ぶ「まちづくり科目」など、市民ニーズに応じた講座を開設し、「次世代につなぐ人づくり、地域(まち)づくり」を進めて参ります。

少年の主張について

次に、少年の主張について申し上げます。

青少年が自分の考えを正しく伝える力を身に付け、コミュニケーション能力の向上と自我形成の助長を目的として、5月31日に柏陽中学校において市内各中学校代表生徒による発表会を開催したところでありま

す。

最優秀賞受賞者1名が、7月5日開催の「少年の主張石狩地区大会」に出場することになっており、大会での活躍が期待されるところであります。

読書活動の推進について

次に、読書活動の推進について申し上げます。

図書館では、3月17日に直木賞作家、佐々木 譲^{じょう}氏による「家読講演^{うちどく}会」を実施し、読書活動の推進を図ったところであります。

また、恵庭分館では、リニューアルオープン事業として絵本作家手島 圭三郎^{てしま けいさぶろう}氏による講演会や、開館時間の延長により4月の入館者は昨年の2.2倍にあたる1万2千人を超えるなど、多くの市民にご利用いただきました。

さらに、学校においては恵明中学校が子供の読書活動優秀実践校として、本市として8校目の文部科学大臣表彰を受賞しました。

今後も、様々な活動を通して読書活動の推進に努めて参ります。

郷土資料館事業について

次に、郷土資料館事業について申し上げます。

郷土資料館では、常設展示のほか企画展として、3月17日から4月15日にかけて「はき物展」を、4月24日から5月6日にかけて、こどもの日に合わせた「五月人形展」を、また、4月21日から5月20日にかけて「ユカンボシE11 遺跡発掘調査成果展」を開催いたしました。

また、ゴールデンウィーク期間中に「むかしの道具体験」、5月12日に今年度第1回目となります「星空観察会」を開催し、歴史や自然に触れていただきました。

5月19日には、史跡隣接町内会等のご協力をいただき、カリンバ史跡周辺のごみ拾いや花壇への植栽など環境整備を行いました。

今後、学校で行われる「ふるさと教育」の一環として、市内8小学校へ郷土資料の貸し出しを行い、恵庭の歴史・文化を学んでいただく「ふるさと教育宅配事業」を5月から10月にかけて実施して参ります。

埋蔵文化財関係では、カリンバ遺跡整備基本計画に基づき、史跡周辺の水文環境調査を実施してデータ収集を行います。

さらに、埋蔵文化財保護と史跡整備への理解を深める事業として「カリンバ土曜講座」を6月から9月にかけて3回実施して参ります。

以上、はなはだ簡単ではありますが平成30年第1回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。